

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 26日は、日本のはるか東の高気圧が本州付近に張り出す。前線が大陸から東シナ海にのび、低気圧が黄海付近に進む。
- 27日から28日にかけて、前線が東・西日本付近を進み、低気圧が日本海を北東に進む。
- 29日から30日にかけて、低気圧が発達しながらオホーツク海へ進み、前線が日本の南から沖縄付近に南下する。高気圧が東シナ海に移動する。

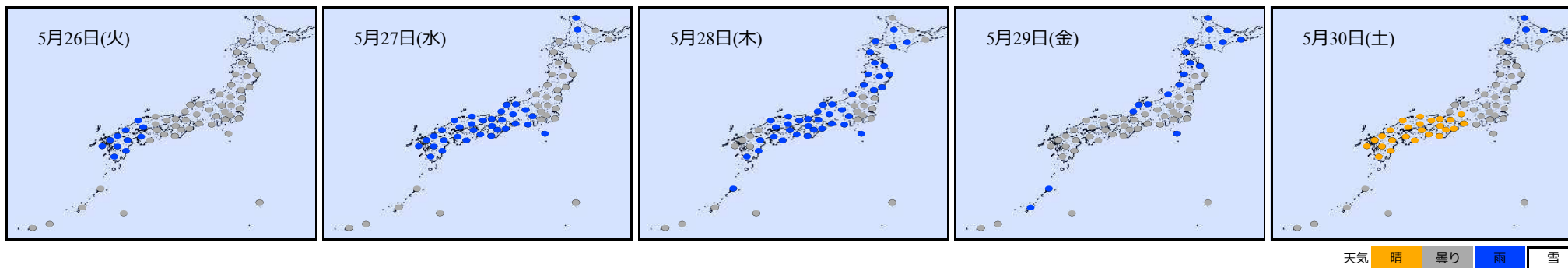
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

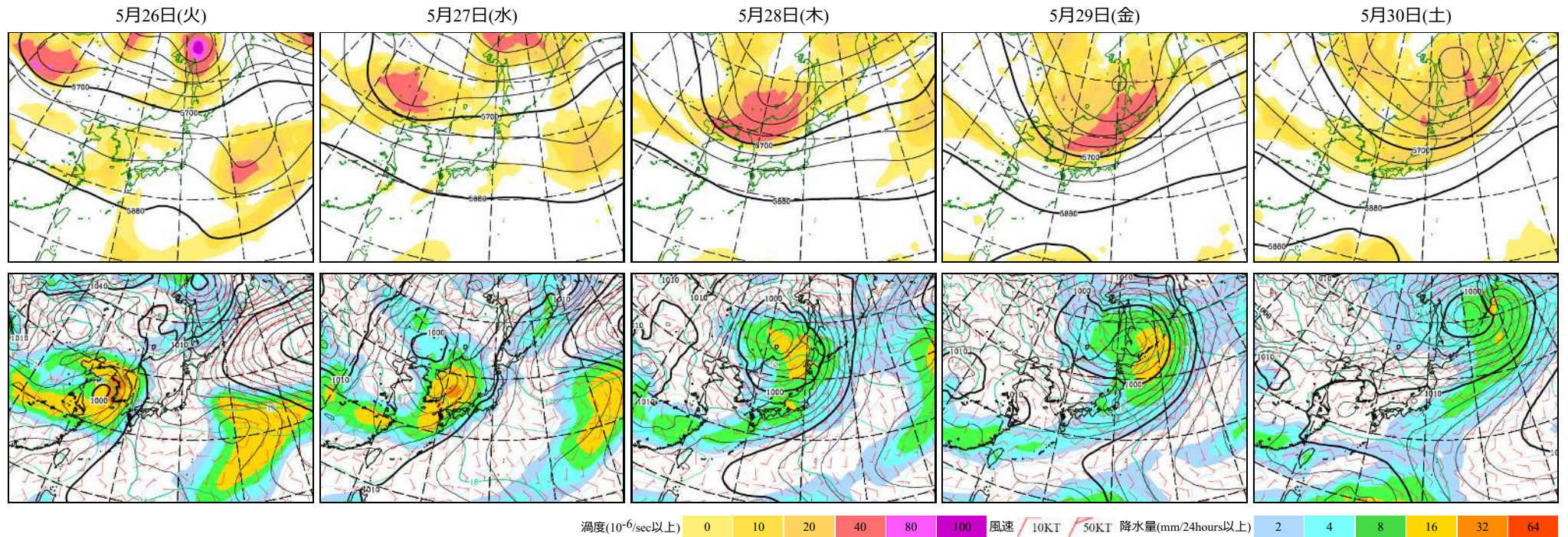
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

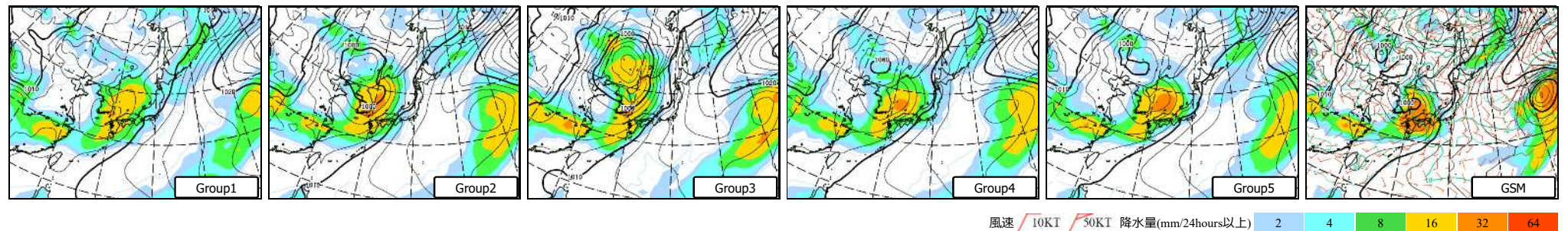


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 東日本は、雲が広がりやすく、27日から29日にかけて雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りや雨の日が多いが、30日は晴れる所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、28日と29日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月27日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、29日頃に日本付近に進むトラフがやや深くなった。地上の気圧配置は、大きな初期値変わりはない。
- 29日に日本付近に進むトラフについては、各モデルともに東進がやや早くなり、モデル間の差は小さくなった。28日に日本海を北東に進む低気圧については、海外モデルより日本モデルの方が明瞭に予想している。
- 27日は、GSMは低気圧を日本海西部に予想するが、海外モデルは四国南岸や九州付近に予想する。ENSは、GSMに近いメンバーが多く、海外モデルに近いメンバーはほとんどない。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。